

ANAホールディングス株式会社 説明会

2018年3月期 第1四半期 決算説明会

執行役員
グループ経理・財務室長

福澤 一郎

2017年8月2日



目次

2017年度 第1四半期 決算

業績ハイライト	P. 3
連結決算概要	
経営成績	P. 4
財政状態	P. 5
キャッシュフロー	P. 6
セグメント別実績	P. 7
航空事業	
収入・費用	P. 9
営業利益増減要因	P. 10
国内旅客事業	P. 11-12
国際旅客事業	P. 13-15
国内貨物事業	P. 17
国際貨物事業	P. 19-21
LCC事業	P. 23-24
航空事業以外のセグメント	P. 25
燃油・為替ヘッジの進捗状況 (ANAブランド)	P. 26

補足資料

運用航空機数	P. 28
国際旅客 方面別実績 (構成比)	P. 29
国際貨物 方面別実績 (構成比)	P. 30

ディスクロージャー
2016年度 優良企業



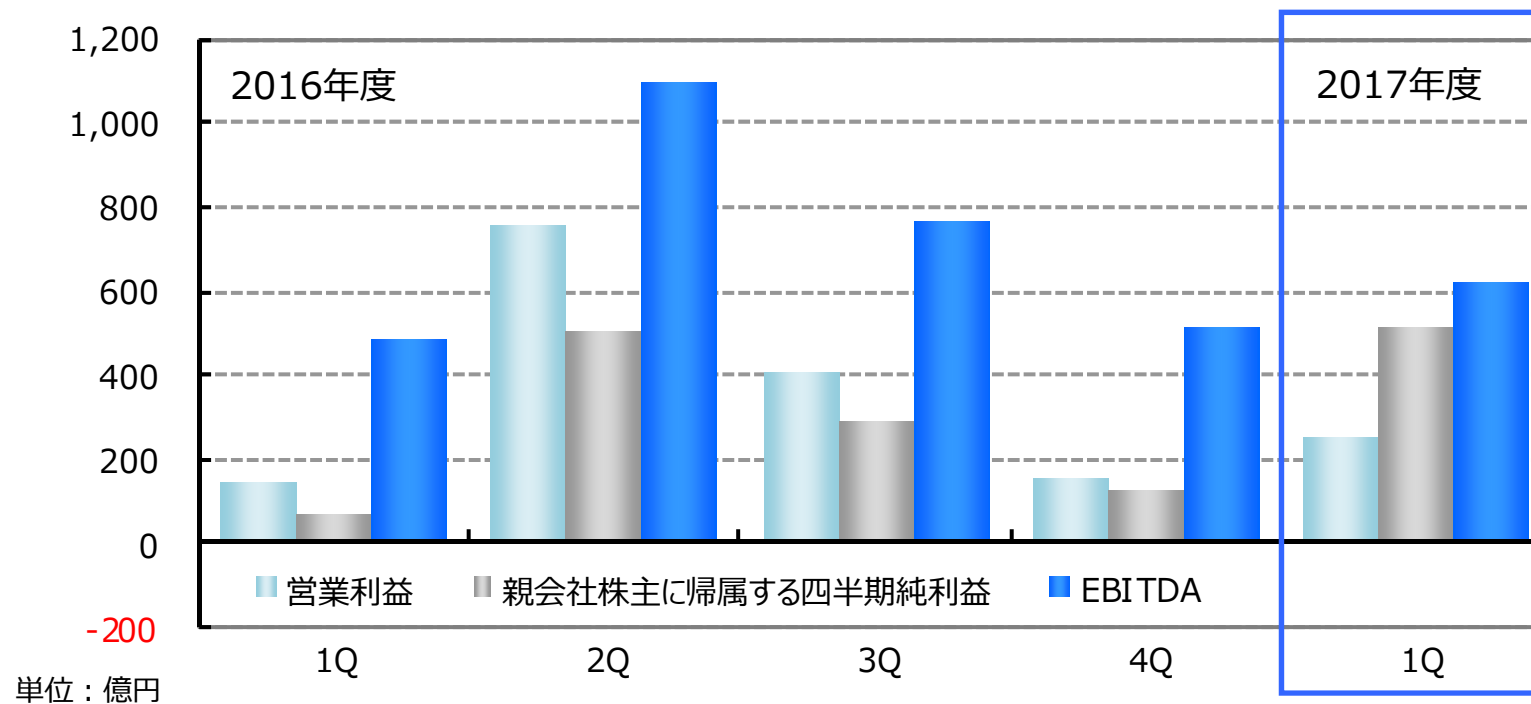
日本証券アナリスト協会
The Securities Analysts Association of Japan

業績ハイライト

当第1四半期と前年度各四半期の業績比較

【2017年度 第1四半期 (連結)】

- 営業利益 : 254億円 (前年同期比 + 113億円)
- 親会社株主に帰属する四半期純利益 : 510億円 (同 + 444億円)
- EBITDA : 620億円 (同 + 138億円)



連結決算概要

経営成績

単位：億円

	FY2016 第1四半期	FY2017 第1四半期	前年差
売上高	4,044	4,517	+ 472
営業費用	3,902	4,262	+ 359
営業利益	141	254	+ 113
営業利益率 (%)	3.5	5.6	+ 2.1
営業外損益	△ 34	△ 6	+ 28
経常利益	106	247	+ 141
特別損益	1	355	+ 354
親会社株主に帰属する四半期純利益	66	510	+ 444
四半期純利益	67	512	+ 445
その他包括利益	△ 168	46	+ 215
包括利益	△ 101	559	+ 660

連結決算概要

財政状態

単位：億円

	FY2016 期末	FY2017 第1四半期末	前年度 期末差
総資産	23,144	24,105	+ 961
自己資本	9,191	9,545	+ 353
自己資本比率(%)	39.7	39.6	△ 0.1
有利子負債残高	7,298	7,493	+ 194
D/Eレシオ (倍) *	0.8	0.8	△ 0.0
純有利子負債残高 **	4,110	4,371	+ 260

* オフバランスリース債務額 378億円（前年度期末 461億円）を含むD/Eレシオは0.8倍（前年度期末0.8倍）

** 純有利子負債残高 = 有利子負債残高 - （流動資産（現金及び預金 + 有価証券））

連結決算概要

キャッシュフロー

単位：億円

	FY2016 第1四半期	FY2017 第1四半期	前年差
営業キャッシュフロー	395	956	+ 561
投資キャッシュフロー	△ 388	△ 1,204	△ 815
財務キャッシュフロー	194	△ 72	△ 266
現金及び現金同等物の増減額	200	△ 323	△ 524
現金及び現金同等物の期首残高	2,651	3,090	} △ 323
現金及び現金同等物の期末残高	2,851	2,766	
減価償却費	340	366	+ 25
設備投資額（固定資産のみ）	363	872	+ 509
実質フリーキャッシュフロー （3ヶ月超の定期・譲渡性預金を除く）	109	△ 65	△ 175
EBITDA（営業利益+減価償却費）	481	620	+ 138
EBITDAマージン(%)	11.9	13.7	+ 1.8

連結決算概要

セグメント別実績

単位：億円

	FY2016 第1四半期	FY2017 第1四半期	前年差	
売上高	航空事業	3,508	3,968	+ 459
	航空関連事業	613	658	+ 44
	旅行事業	341	363	+ 21
	商社事業	344	335	△ 8
	報告セグメント計	4,807	5,324	+ 517
	その他	83	88	+ 4
	調整額	△ 847	△ 895	△ 48
	合計（連結）	4,044	4,517	+ 472
営業利益	航空事業	126	231	+ 105
	航空関連事業	24	42	+ 17
	旅行事業	6	6	+ 0
	商社事業	10	9	△ 0
	報告セグメント計	167	291	+ 123
	その他	4	5	+ 1
	調整額	△ 30	△ 42	△ 11
	合計（連結）	141	254	+ 113

Intentionally Blank

航空事業

収入・費用

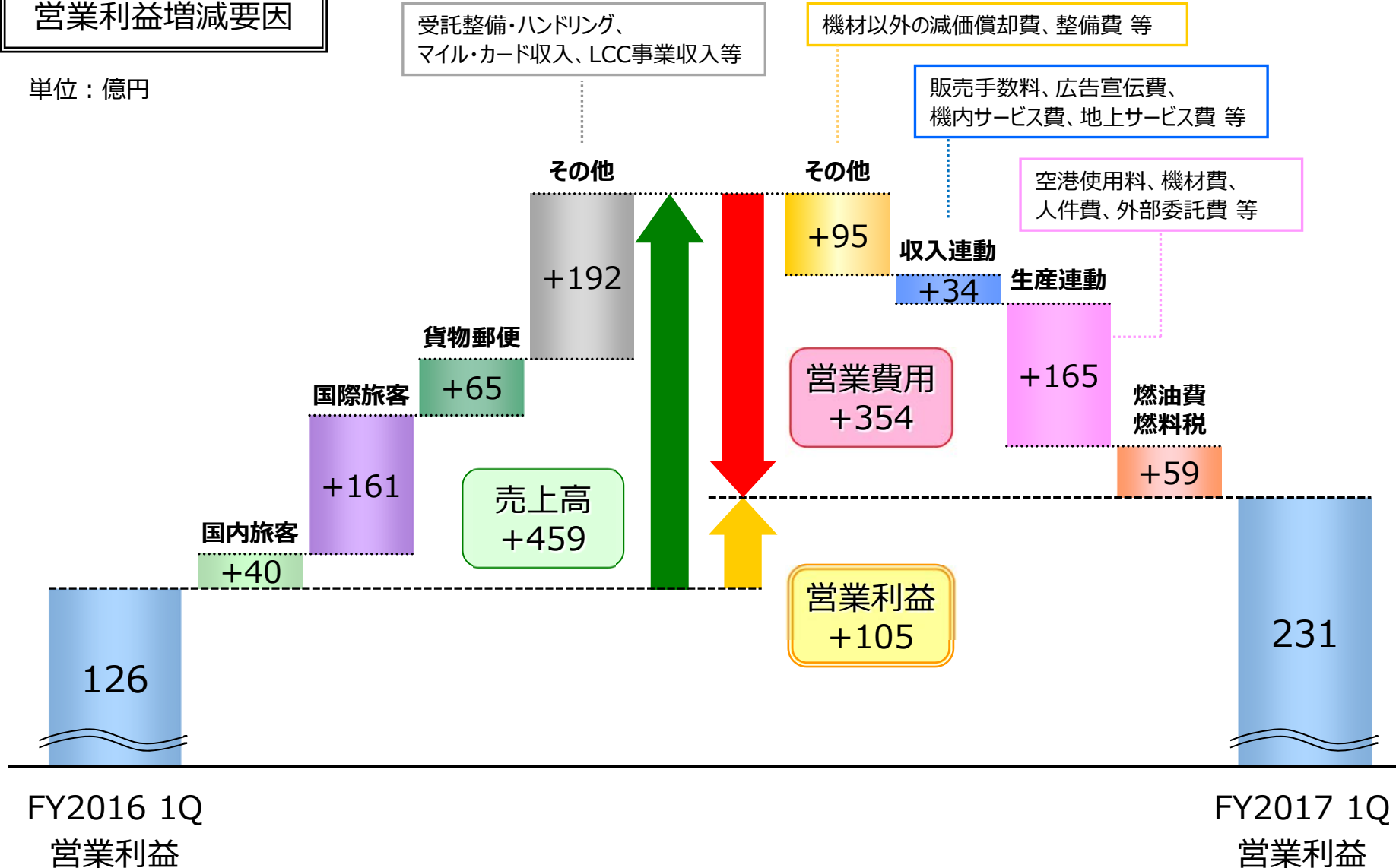
単位：億円

	FY2016 第1四半期	FY2017 第1四半期	前年差	
売上高	国内線旅客	1,505	1,546	+ 40
	国際線旅客	1,233	1,394	+ 161
	貨物郵便	297	362	+ 65
	その他	472	664	+ 192
	合計	3,508	3,968	+ 459
営業費用	燃油費・燃料税	668	727	+ 59
	空港使用料	278	301	+ 23
	航空機材賃借費	250	275	+ 25
	減価償却費	324	350	+ 26
	整備部品・外注費	246	327	+ 81
	人件費	451	487	+ 36
	販売費	230	244	+ 14
	外部委託費	487	541	+ 54
	その他	446	479	+ 33
	合計	3,382	3,736	+ 354
営業利益	126	231	+ 105	
EBITDA（営業利益＋減価償却費）	450	582	+ 132	
EBITDAマージン	12.8	14.7	+ 1.8	

航空事業

営業利益増減要因

単位：億円



航空事業

国内旅客事業（実績）

（ANAブランド）

	FY2016 第1四半期	FY2017 第1四半期	前年比(%)
座席キロ（百万）	14,393	14,410	+ 0.1
旅客キロ（百万）	8,792	9,296	+ 5.7
旅客数（千人）	9,789	10,353	+ 5.8
座席利用率（%）	61.1	64.5	+ 3.4*
旅客収入（億円）	1,505	1,546	+ 2.7
ユニットレベニュー（円） （旅客収入／座席キロ）	10.5	10.7	+ 2.6
イールド（円） （旅客収入／旅客キロ）	17.1	16.6	△ 2.9
単価（円） （旅客収入／旅客数）	15,378	14,934	△ 2.9

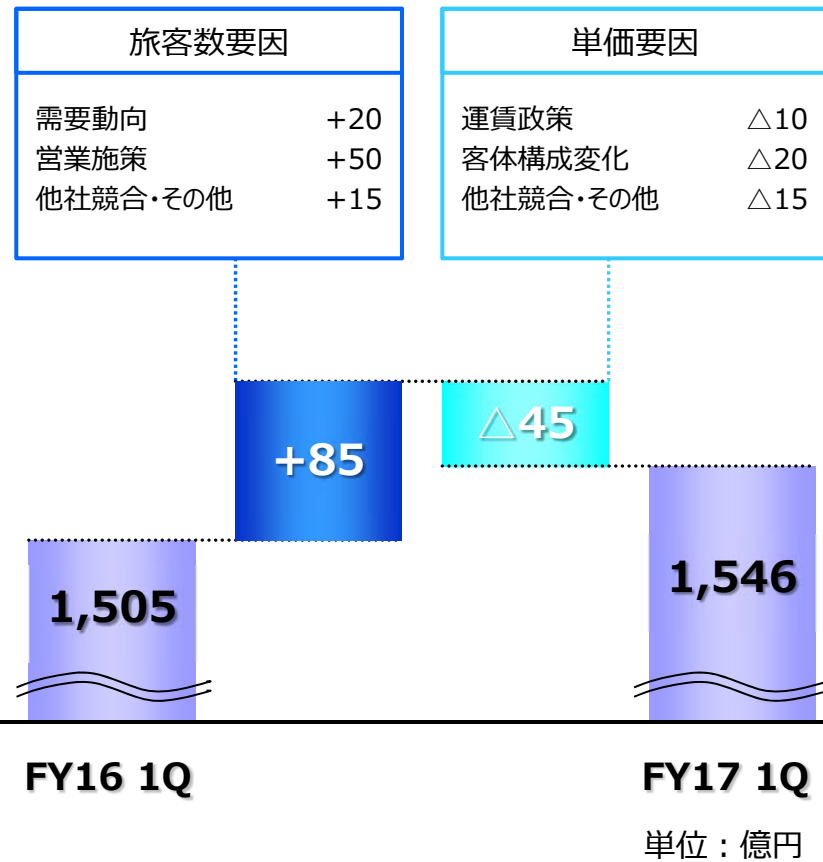
* 座席利用率のみ前年差

航空事業

国内旅客事業（事業動向）

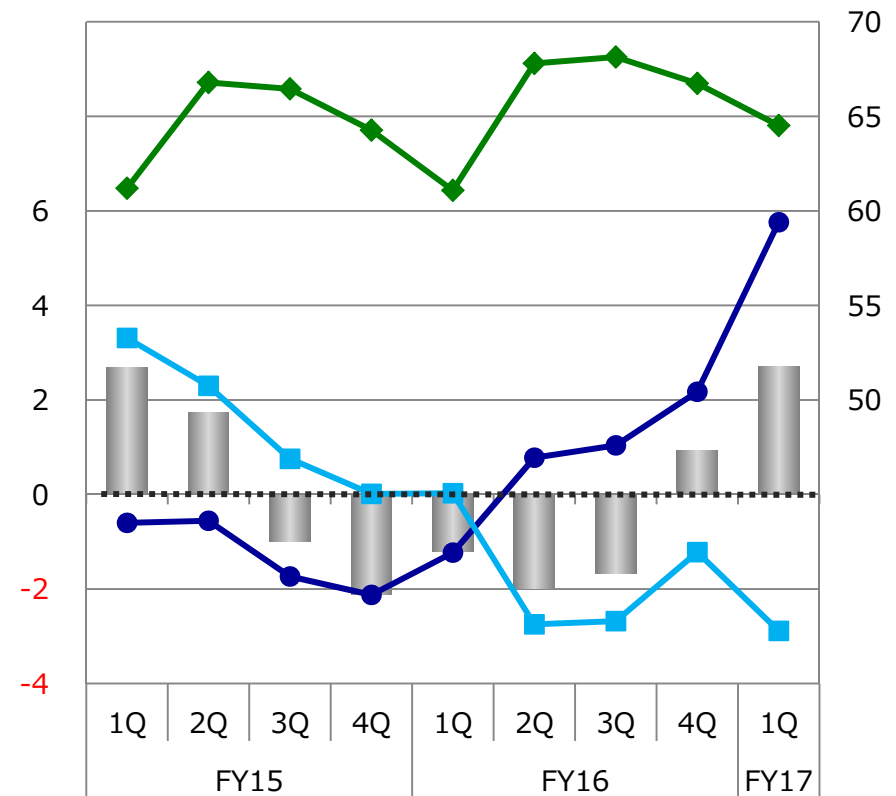
(ANAブランド)

第1四半期 収入増減要因



四半期別 実績推移

左軸（前年比:%） ■：旅客収入 ●：旅客数 □：単価
 右軸（実績:%） ◆：座席利用率



航空事業

国際旅客事業（実績）

（ANAブランド）

	FY2016 第1四半期	FY2017 第1四半期	前年比(%)
座席キロ（百万）	14,612	15,759	+ 7.8
旅客キロ（百万）	10,663	11,608	+ 8.9
旅客数（千人）	2,131	2,246	+ 5.4
座席利用率（%）	73.0	73.7	+ 0.7*
旅客収入（億円）	1,233	1,394	+ 13.1
ユニットレベニュー（円） （旅客収入／座席キロ）	8.4	8.9	+ 4.8
イールド（円） （旅客収入／旅客キロ）	11.6	12.0	+ 3.9
単価（円） （旅客収入／旅客数）	57,868	62,073	+ 7.3

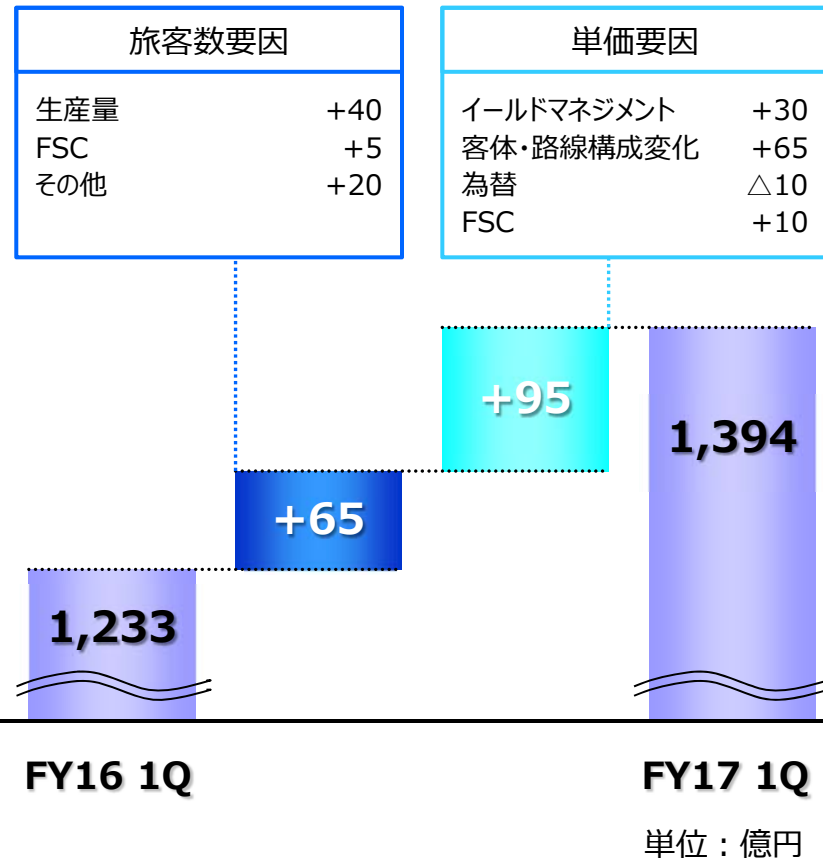
* 座席利用率のみ前年差

航空事業

国際旅客事業（事業動向）

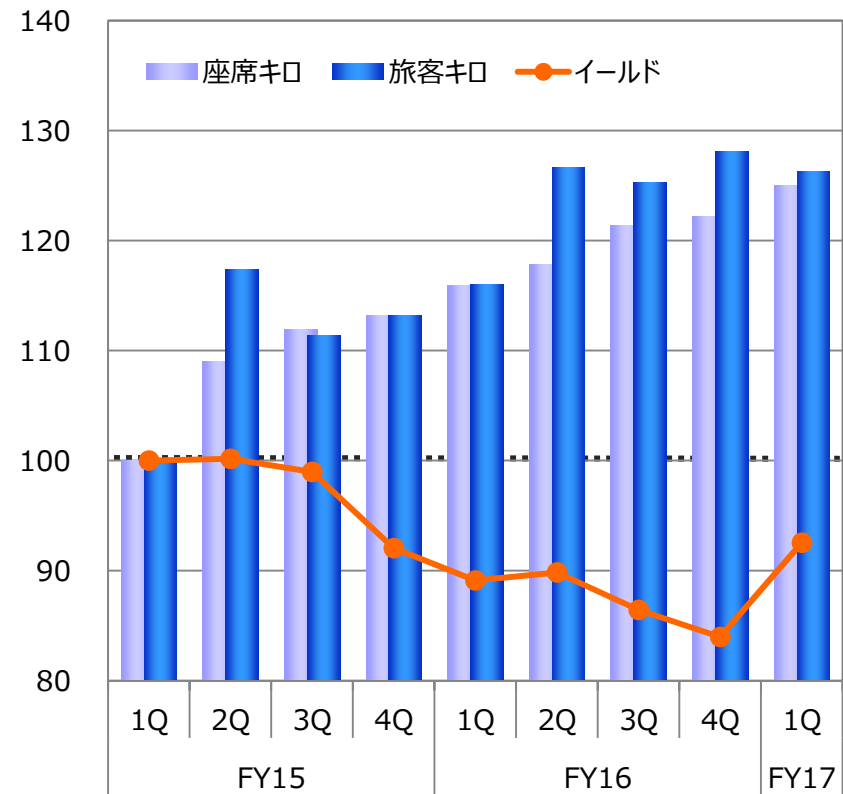
(ANAブランド)

第1四半期 収入増減要因



四半期別 実績推移

(指数：FY15 1Q=100)



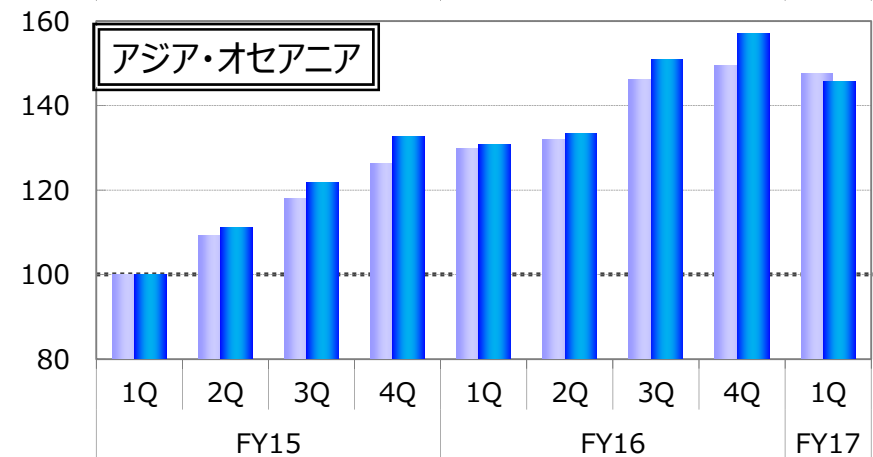
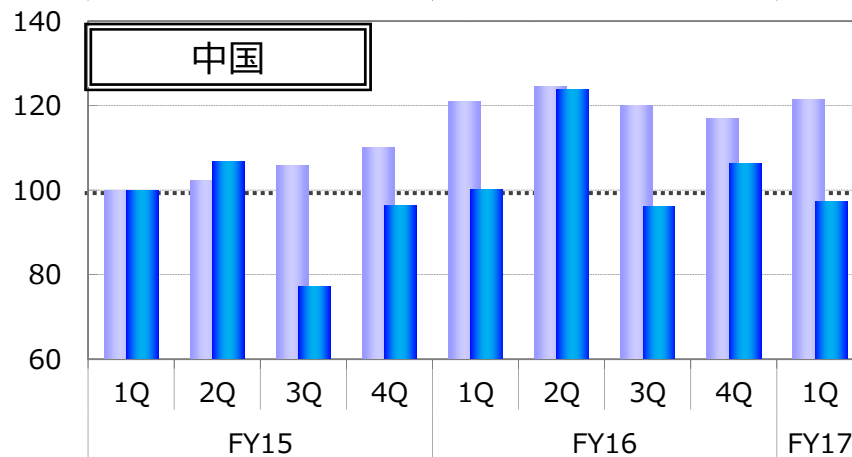
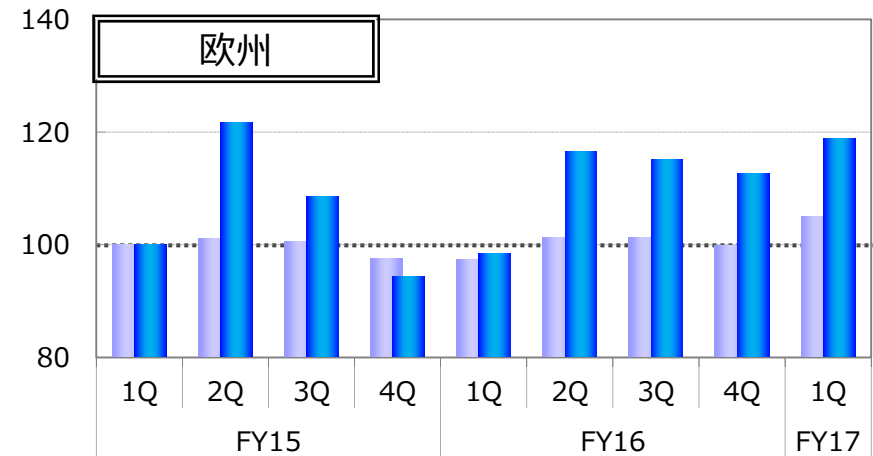
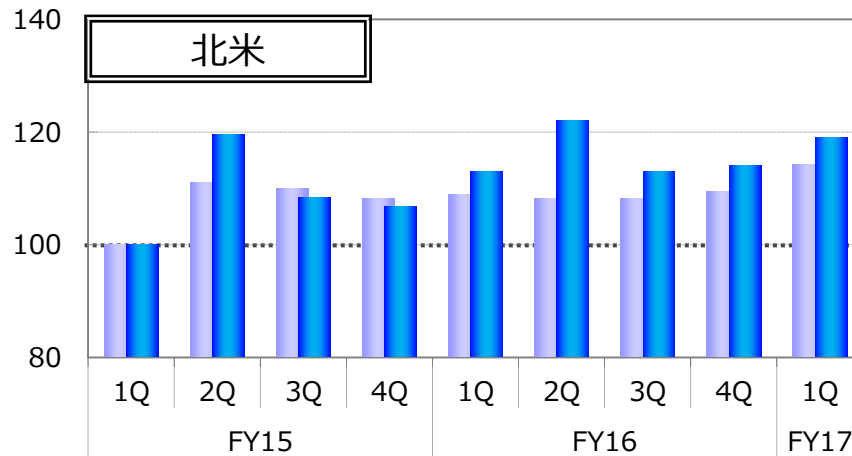
航空事業

国際旅客事業（事業動向）

（ANAブランド）

四半期別 方面別 座席キロ・旅客キロ 推移

（指数 FY15 1Q=100） ■：座席キロ ■：旅客キロ



Intentionally Blank

航空事業

国内貨物事業（実績）

	FY2016 第1四半期	FY2017 第1四半期	前年比(%)
有効貨物トンキロ（百万）	424	425	+ 0.2
有償貨物トンキロ（百万）	105	104	△ 0.6
貨物輸送重量（千トン）	103	101	△ 1.9
貨物重量利用率（%）	24.9	24.7	△ 0.2*
貨物収入（億円）	71	72	+ 0.9
ユニットレベニュー（円） （貨物収入／有効貨物トンキロ）	16.9	17.0	+ 0.7
イールド（円） （貨物収入／有償貨物トンキロ）	67.8	68.8	+ 1.5
重量単価（円/kg） （貨物収入／貨物輸送重量）	69	71	+ 2.9

* 貨物重量利用率のみ前年差

Intentionally Blank

航空事業

国際貨物事業（実績）

	FY2016 第1四半期	FY2017 第1四半期	前年比(%)
有効貨物トンキロ（百万）	1,612	1,674	+ 3.8
有償貨物トンキロ（百万）	980	1,098	+ 12.0
貨物輸送重量（千トン）	221	243	+ 10.2
貨物重量利用率（%）	60.8	65.6	+ 4.8*
貨物収入（億円）	204	268	+ 31.3
ユニットレベニュー（円） （貨物収入／有効貨物トンキロ）	12.7	16.1	+ 26.5
イールド（円） （貨物収入／有償貨物トンキロ）	20.9	24.5	+ 17.2
重量単価（円/kg） （貨物収入／貨物輸送重量）	93	110	+ 19.2

* 貨物重量利用率のみ前年差

航空事業

【参考】国際フレイター（実績）

本表のデータは、P19記載実績の内数

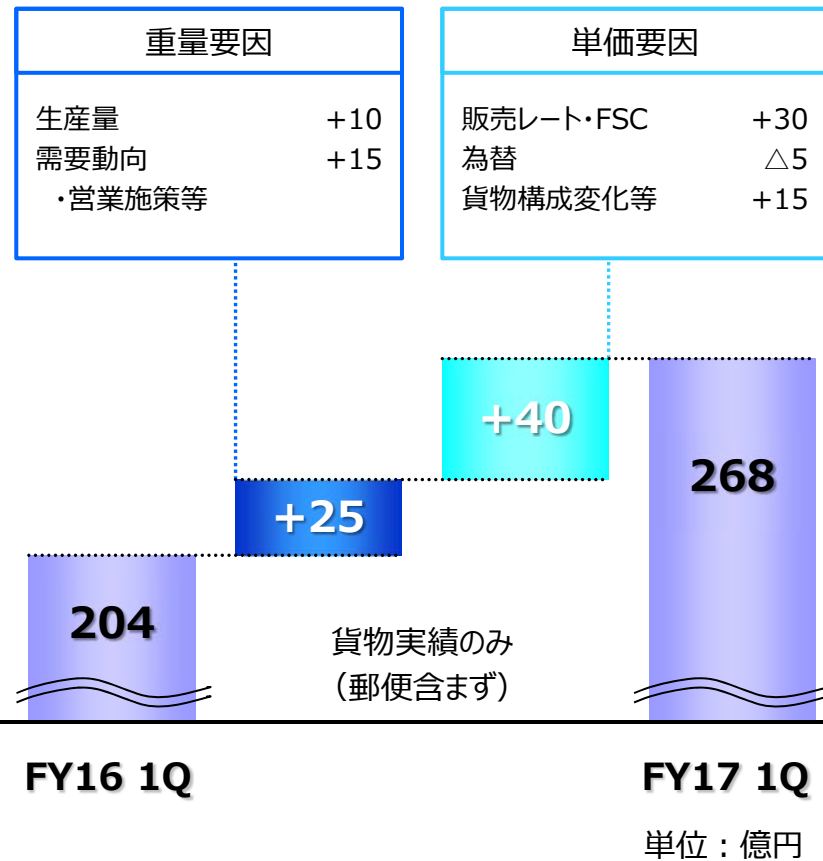
	FY2016 第1四半期	FY2017 第1四半期	前年比(%)
有効貨物トンキロ（百万）	305	266	△ 12.8
有償貨物トンキロ（百万）	176	168	△ 4.4
貨物輸送重量（千トン）	90	90	+ 0.7
貨物重量利用率（%）	57.7	63.2	+ 5.5*
貨物収入（億円）	69	66	△ 3.8
ユニットレベニュー（円） （貨物収入／有効貨物トンキロ）	22.7	25.0	+ 10.3
イールド（円） （貨物収入／有償貨物トンキロ）	39.3	39.6	+ 0.7
重量単価（円/kg） （貨物収入／貨物輸送重量）	77	73	△ 4.4

* 貨物重量利用率のみ前年差

航空事業

国際貨物事業（事業動向）

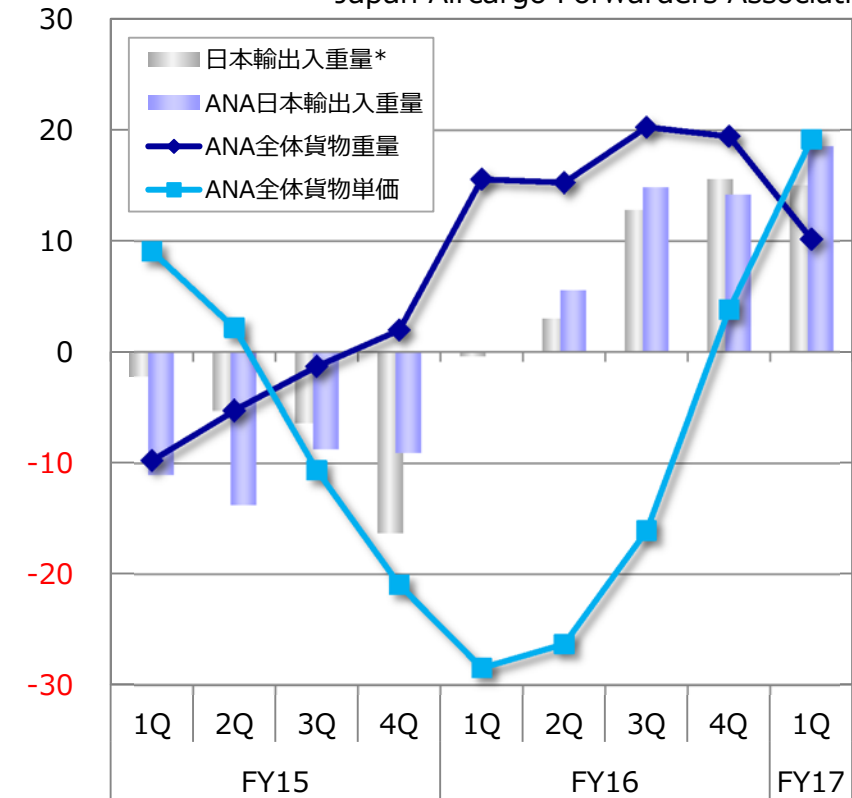
第1四半期 収入増減要因



四半期別 実績推移

(前年比：%)

* Japan Aircargo Forwarders Association



FY16の前年比については、
販売手数料の廃止による影響を除いた実質的な単価で算出

Intentionally Blank

航空事業

LCC事業 (バニラエア)

(国内線・国際線合計)

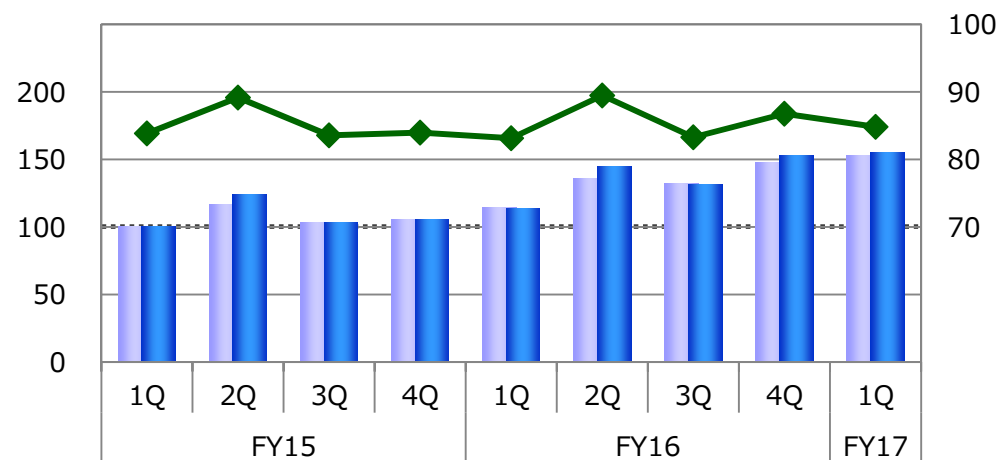
	FY2016 第1四半期	FY2017 第1四半期	前年比(%)
座席キロ (百万)	911	1,221	+ 34.0
旅客キロ (百万)	757	1,035	+ 36.7
旅客数 (千人)	446	651	+ 45.9
座席利用率 (%)	83.1	84.8	+ 1.7*

* 座席利用率のみ前年差

運用航空機数

エアバスA320-200型機：12機
(2017年6月末 現在)

左軸 (指数 FY15 1Q=100) ■ : 座席キロ ■ : 旅客キロ
右軸 (実績:%) ◆ : 座席利用率



航空事業

LCC事業 (Peach Aviation)

(国内線・国際線合計)

FY2017
第1四半期

座席キ〇 (百万)	1,611
旅客キ〇 (百万)	1,382
旅客数 (千人)	1,186
座席利用率 (%)	85.8

運用航空機数

エアバスA320-200型機：19機
(2017年6月末 現在)

【新規就航路線 (第2四半期)】

- | | |
|--|--|
| <ul style="list-style-type: none"> → 仙台 - 札幌 (新千歳) → 札幌 (新千歳) - 福岡 → 札幌 (新千歳) - 台北 (桃園) → 仙台 - 台北 (桃園) | <div style="font-size: 3em;">}</div> <p>9/24 就航予定</p> <p>9/25 就航予定</p> |
|--|--|

航空事業以外のセグメント

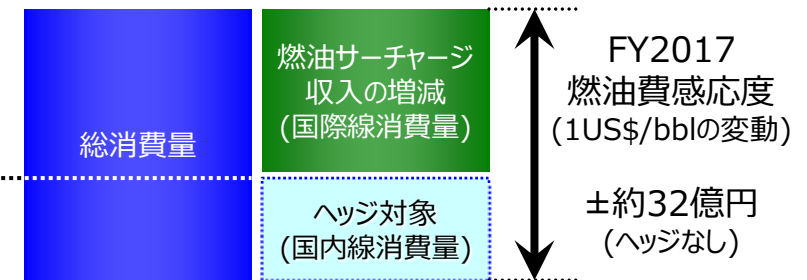
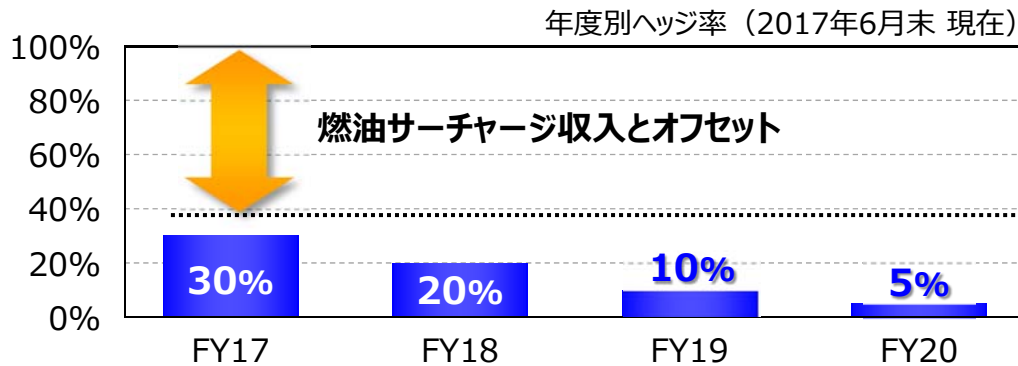
セグメント別実績	航空関連事業			旅行事業		
	FY2016 第1四半期	FY2017 第1四半期	前年差	FY2016 第1四半期	FY2017 第1四半期	前年差
単位：億円						
売上高	613	658	+ 44	341	363	+ 21
営業利益	24	42	+ 17	6	6	+ 0
減価償却費	13	11	△ 1	0	0	+ 0
EBITDA (営業利益+減価償却費)	37	54	+ 16	6	7	+ 1
EBITDAマージン(%)	6.2	8.2	+ 2.1	1.9	2.1	+ 0.2
	商社事業			その他		
	FY2016 第1四半期	FY2017 第1四半期	前年差	FY2016 第1四半期	FY2017 第1四半期	前年差
売上高	344	335	△ 8	83	88	+ 4
営業利益	10	9	△ 0	4	5	+ 1
減価償却費	2	3	+ 0	0	0	+ 0
EBITDA (営業利益+減価償却費)	13	12	△ 0	4	6	+ 1
EBITDAマージン(%)	3.9	3.8	△ 0.1	5.6	7.2	+ 1.6

燃油・為替ヘッジの進捗状況 (ANAブランド)

【燃油ヘッジ 基本方針】

- ・国内線消費量を対象にヘッジ (3年前から取引開始)
- ・国際線消費量は原則としてヘッジ対象外 (燃油サーチャージ収入で対応)

(US\$/bbl)	FY17 1Q実績	FY17 前提値
ドバイ原油	49.7	55.0
シンガポールケロシン	60.5	68.0

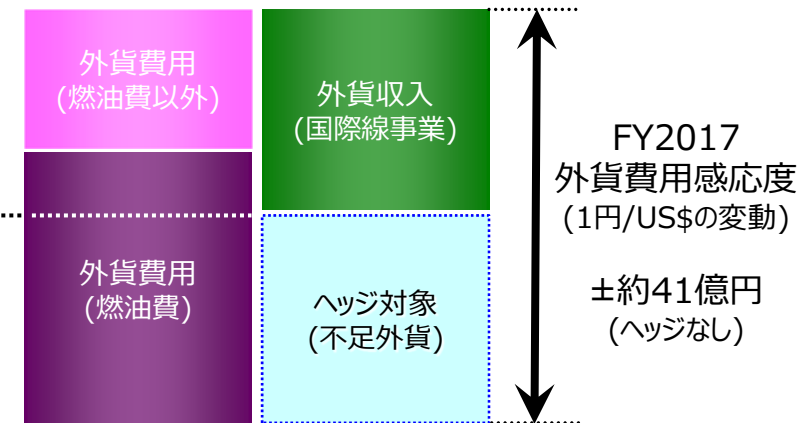
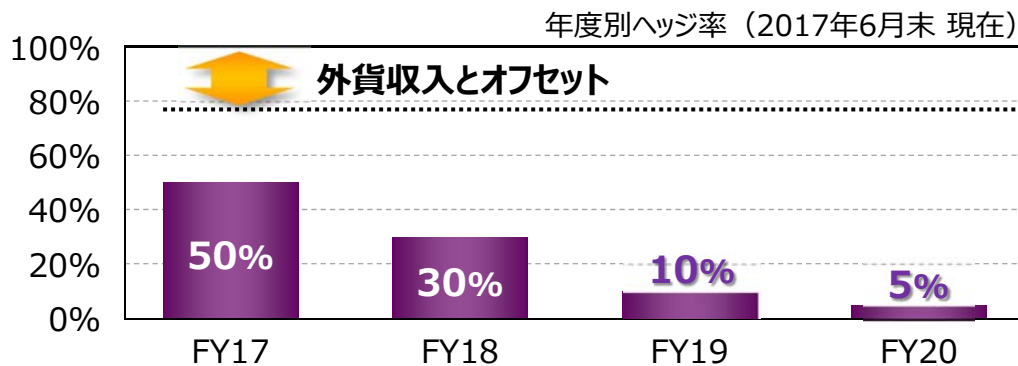


【為替ヘッジ 基本方針】

- ・不足する外貨量を対象にヘッジ (3年前から取引開始)

※ヘッジ率は外貨費用 (燃油費) に対する進捗

(円/US\$)	FY17 1Q実績	FY17 前提値
ドル円レート	111.1	110



補足資料



補足資料

運用航空機数	FY2016 期末	FY2017 第1四半期末	前年度 期末差	保有機数	リース機数
Boeing 777-300/-300ER	29	29	-	24	5
Boeing 777-200/-200ER	24	23	△ 1	16	7
Boeing 787-9	21	23	+ 2	22	1
Boeing 787-8	36	36	-	31	5
Boeing 767-300/-300ER	37	37	-	26	11
Boeing 767-300F/-300BCF	12	12	-	8	4
Airbus A321-200	4	4	-	-	4
Airbus A320-200neo	2	2	-	2	-
Airbus A320-200	10	8	△ 2	8	-
Boeing 737-800	36	36	-	24	12
Boeing 737-700	7	7	-	7	-
Boeing 737-500	17	16	△ 1	16	-
Bombardier DHC-8-400	21	21	-	21	-
ANA 計	256	254	△ 2	205	49
Airbus A320-200	12	12	-	-	12
Airbus A320-200	-	19	+ 19	-	19
ANAグループ 計	268	285	+ 17	205	80

補足資料

国際旅客 方面別実績（構成比）		(ANAブランド)	FY2017 第1四半期 構成比	前年差
旅客収入	北米		32.1	△ 0.4
	欧州		20.5	+ 1.6
	中国		12.4	△ 1.5
	アジア・オセアニア		30.6	+ 0.1
	リゾート		4.5	+ 0.1
座席キロ	北米		32.8	△ 0.9
	欧州		16.1	△ 0.0
	中国		11.1	△ 0.8
	アジア・オセアニア		35.0	+ 1.8
	リゾート		4.9	△ 0.1
旅客キロ	北米		33.5	△ 1.1
	欧州		17.3	+ 1.7
	中国		8.8	△ 1.1
	アジア・オセアニア		35.0	+ 0.8
	リゾート		5.5	△ 0.3

補足資料

国際貨物 方面別実績（構成比）

		FY2017 第1四半期 構成比	前年差
貨物収入	北米	31.6	+ 8.9
	欧州	16.2	+ 2.0
	中国	24.4	△ 9.7
	アジア・オセアニア	23.3	△ 0.4
	その他	4.5	△ 0.7
有効貨物 トンキロ	北米	37.2	+ 0.4
	欧州	16.1	△ 0.1
	中国	16.3	△ 0.2
	アジア・オセアニア	27.7	+ 1.0
	その他	2.7	△ 1.0
有償貨物 トンキロ	北米	38.0	+ 0.1
	欧州	20.5	△ 0.5
	中国	13.9	+ 0.6
	アジア・オセアニア	24.8	+ 0.3
	その他	2.8	△ 0.6

ANAグループが目指すもの

グループ経営理念

安心と信頼を基礎に
世界をつなぐ心の翼で
夢にあふれる未来に貢献します

グループ安全理念

安全は経営の基盤であり社会への責務である
私たちはお互いの理解と信頼のもと
確かなしくみで安全を高めていきます
私たちは一人ひとりの責任ある
誠実な行動により安全を追求します

グループ経営ビジョン

ANAグループは、
お客様満足と価値創造で
世界のリーディングエアライングループを目指します

免責事項

当資料には、弊社の現在の計画、見積り、戦略、確信に基づく見通しについての記述がありますが、歴史的な事実でないものは、全て将来の業績に関わる見通しです。これらは現在入手可能な情報から得られた弊社の判断及び仮説に基づいています。

弊社グループの主要事業である航空事業には、空港使用料、航空機燃料税等、弊社の経営努力では管理不可能な公的負担コストが伴います。また、弊社が事業活動を行っている市場は状況変化が激しく、技術、需要、価格、経済環境の動向、外国為替レートの変動、その他多くの要因により急激な変化が発生する可能性があります。これらのリスクと不確実性のために、将来における弊社の業績は当資料に記述された内容と大きく異なる可能性があります。従って、弊社が設定した目標は、全て実現することを保証するものではありません。

ご清聴ありがとうございました。

当資料はホームページでもご覧いただけます。

<http://www.ana.co.jp/group/investors>

【日本語】 株主・投資家情報 → I R 資料室 → 決算説明会資料

ANAホールディングス(株) グループ経理・財務室 財務企画・I R 部

Eメール : ir@anahd.co.jp